



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,885	△0.8	296	△9.3	361	△5.2	252	△4.1
2019年3月期第1四半期	4,925	4.0	327	6.0	381	4.1	262	3.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 320百万円 (137.4%) 2019年3月期第1四半期 134百万円 (△72.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	56.82	-
2019年3月期第1四半期	59.23	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	26,021	16,365	60.8	3,560.31
2019年3月期	26,222	16,143	59.5	3,512.81

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,807百万円 2019年3月期 15,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	17.00	-	21.00	38.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	19.00	-	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	11,000	1.9	700	△1.5	760	△2.4	525	△3.1	118.24
通期	22,000	0.8	1,500	△1.5	1,630	△2.3	1,120	△3.0	252.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	4,450,000株	2019年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	9,961株	2019年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,440,039株	2019年3月期1Q	4,440,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）における我が国経済は、緩やかな回復基調は崩れなかったものの、足踏み感が漂う情勢でした。

2019年1～3月期の実質GDPは前期に続いてプラス成長となりましたが、輸入の減少が押上げの主因でした。4～6月期に入り、鉱工業生産指数は、3月の前月比減少を受けて、4月、5月と2ヶ月連続で前月比プラス、6月は一転してマイナスとなり、一進一退でした。4～6月期の実質GDP成長率は、輸出は停滞したものの内需が順調でかろうじてプラスを維持する見通しです。

1～3月期に減少した輸出は、4～6月期も一部で底入れはありましたが引き続き弱含みで推移しました。米国との貿易摩擦が重なって中国景気が減速、アジア諸国へ影響が広がり、アジア向けを中心に我が国の輸出の回復は遅れています。欧州も含め世界経済で停滞感が強まりつつあります。

企業収益は、内需が堅調に推移したため、内需型企業、非製造業を中心に引き続き高水準を維持していますが、製造業では景況判断が悪化しています。設備投資も省力化と維持更新の需要は底堅いながら、先送りの動きも見られません。

一方で、雇用所得環境は、ペースは鈍化したものの改善が続き、個人消費は、消費者マインドの慎重化と天候不順が重石となりましたが、大型連休効果もあり緩やかな拡大が持続しました。インバウンド需要も持ち直しが継続しました。公共投資は2018年度補正予算執行で増加傾向です。

今後も、米中貿易摩擦の行方や消費税率上げの影響など、見通しにくい景気情勢が続く見込ですが、輸出の持ち直しにはやや時間がかかるものと推測されます。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、景況を反映して売上が全体に伸び悩んで、連結売上高は4,885百万円で前年同期に比して39百万円の減収となりました。損益では、減収と前年同期より原材料価格が上昇したことで減益となり、営業利益296百万円（前年同期比30百万円の減益）、経常利益361百万円（同19百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益252百万円（同10百万円の減益）の結果でした。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第1四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期を1.6%下回りました。米麦袋が前年度3月に前倒し出荷があった関係で大きく減少したほか、合成樹脂、塩、その他食品などの用途が減少しました。前年同期に減少した砂糖・甘味や、化学薬品、製粉などの用途は増加しました。昨夏値上がりした重包装袋の原紙価格については大きな変動はありませんでした。

当社の売上数量は前年同期比△4.5%で、業界の減少幅を上回り、業界内シェアを下げる結果となりました。米麦袋のほか、合成樹脂、砂糖・甘味、化学薬品用途が減少しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、塩、飼料用の減少と米麦袋の前倒し出荷分を新規で補いきれず、前年同期比△2.4%でした。タイ昭和パックス㈱の当第1四半期連結累計期間（1～3月）は、中国景気減速の影響を被って顧客の生産量が落ちて紙袋の需要が減少した結果、売上数量の前年割れが続き、前年同期と比べて8.4%の減少となりました。山陰製袋工業㈱は、当第1四半期連結累計期間（1～3月）は好調が続き、米麦袋の前倒し出荷もあって、売上数量を前年同期から13.1%伸ばしました。

当セグメントの第1四半期連結累計期間売上高は3,131百万円で、前年同期に対し0.2%の減収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第1四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期から産業用は減少、農業用は微減となる見通しです。主原材料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂の価格は、1～3月期に昨夏の上昇分を値戻した後、再び値上げが打ち出されましたが、4～6月期中の変動はありませんでした。

当社の売上数量は、産業用は増加、農業用は減少で、合計では前年同期比△0.2%でした。産業用の広幅ポリエチレンフィルム、アスベスト隔離シートが増加しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は856百万円で、前年同期に対して2.0%の増収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、化学工業品、窯業土石品用途が減少、合成樹脂用途が増加で、全体では前年同期から横ばい圏内になる見通しです。海外からの輸入量の全体は前年からやや増加しました。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比△2.5%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は減少、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は前年同期から増加しました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は397百万円で、前年同期に対して3.7%の減収となりました。

○不動産賃貸

賃貸契約内容に若干の変動があり、当セグメントの当第1四半期連結累計期間売上高は前年同期から2.0%減の64百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末総資産は26,021百万円で、前連結会計年度末に比べて201百万円減少しました。主な増加要因は棚卸資産397百万円、主な減少要因は受取手形及び売掛金507百万円です。

(負債)

負債合計は9,655百万円で、前連結会計年度末に比べて423百万円減少しました。主な増加要因はその他の流動負債514百万円、主な減少要因は支払手形及び買掛金101百万円、電子記録債務169百万円、短期借入金399百万円、未払法人税等117百万円および賞与引当金165百万円です。

(純資産)

純資産合計は16,365百万円で、前連結会計年度末に比べて222百万円増加しました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益252百万円、主な減少要因は剰余金の配当93百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると減収減益の結果となりました。これからの景気変動は見通しにくいところがあり、その変動次第では当社グループの損益に大きく影響が及ぶリスクもありますが、当連結会計年度(2019年4月1日～2020年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、当初の予想(2019年5月13日発表)を変更せず、連結売上高22,000百万円、連結経常利益1,630百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,120百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,023,869	7,043,444
受取手形及び売掛金	6,762,018	6,254,351
電子記録債権	497,366	492,402
商品及び製品	1,080,369	1,419,846
仕掛品	129,625	158,050
原材料及び貯蔵品	1,054,753	1,084,762
その他	261,133	194,213
貸倒引当金	△11,376	△11,107
流動資産合計	16,797,758	16,635,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,772,589	7,829,866
減価償却累計額	△5,723,403	△5,777,029
建物及び構築物 (純額)	2,049,186	2,052,837
機械装置及び運搬具	9,949,253	10,014,899
減価償却累計額	△8,702,638	△8,803,871
機械装置及び運搬具 (純額)	1,246,615	1,211,028
土地	880,730	884,626
建設仮勘定	15,275	8,692
その他	824,692	836,775
減価償却累計額	△747,506	△754,378
その他 (純額)	77,185	82,396
有形固定資産合計	4,268,993	4,239,581
無形固定資産		
ソフトウェア	9,835	9,656
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	19,065	18,887
投資その他の資産		
投資有価証券	4,532,757	4,521,654
退職給付に係る資産	457,915	462,391
繰延税金資産	47,588	48,184
その他	107,158	103,450
貸倒引当金	△9,110	△9,110
投資その他の資産合計	5,136,310	5,126,571
固定資産合計	9,424,369	9,385,039
資産合計	26,222,128	26,021,003

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,917,073	3,815,629
電子記録債務	1,660,072	1,490,200
短期借入金	1,531,300	1,131,900
未払法人税等	274,966	157,418
賞与引当金	377,858	212,592
役員賞与引当金	19,440	14,790
設備関係支払手形	2,475	13,643
営業外電子記録債務	31,013	44,023
その他	664,573	1,179,463
流動負債合計	8,478,773	8,059,661
固定負債		
長期借入金	99,000	99,000
繰延税金負債	813,547	811,735
役員退職慰労引当金	104,684	109,166
環境対策引当金	5,119	-
退職給付に係る負債	397,679	393,313
資産除去債務	6,995	6,995
長期預り保証金	173,063	172,229
その他	-	2,994
固定負債合計	1,600,089	1,595,434
負債合計	10,078,862	9,655,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	12,762,802	12,921,866
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	13,683,708	13,842,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,770,946	1,768,569
為替換算調整勘定	165,055	221,101
退職給付に係る調整累計額	△22,694	△24,542
その他の包括利益累計額合計	1,913,307	1,965,127
非支配株主持分	546,249	558,007
純資産合計	16,143,265	16,365,907
負債純資産合計	26,222,128	26,021,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,925,026	4,885,801
売上原価	3,963,967	3,941,772
売上総利益	961,058	944,028
販売費及び一般管理費	634,053	647,549
営業利益	327,005	296,479
営業外収益		
受取利息	749	550
受取配当金	55,795	60,438
その他	5,079	7,705
営業外収益合計	61,624	68,694
営業外費用		
支払利息	4,051	2,977
為替差損	1,841	-
その他	1,061	280
営業外費用合計	6,955	3,257
経常利益	381,674	361,916
特別損失		
投資有価証券評価損	-	11,133
特別損失合計	-	11,133
税金等調整前四半期純利益	381,674	350,783
法人税、住民税及び事業税	104,887	88,866
法人税等調整額	1,129	△282
法人税等合計	106,017	88,583
四半期純利益	275,656	262,200
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,672	9,895
親会社株主に帰属する四半期純利益	262,984	252,304

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	275,656	262,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107,431	△2,372
為替換算調整勘定	△33,608	62,273
退職給付に係る調整額	285	△1,847
その他の包括利益合計	△140,753	58,053
四半期包括利益	134,902	320,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,094	304,124
非支配株主に係る四半期包括利益	8,808	16,128

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,138,216	839,754	413,302	66,024	4,457,297	467,728	4,925,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,138,216	839,754	413,302	66,024	4,457,297	467,728	4,925,026
セグメント利益又は損失(△)	303,679	44,351	△4,302	39,132	382,860	33,302	416,162

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	382,860
「その他」の区分の利益	33,302
全社費用(注)	△89,157
四半期連結損益計算書の営業利益	327,005

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,131,182	856,625	397,839	64,714	4,450,362	435,438	4,885,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,131,182	856,625	397,839	64,714	4,450,362	435,438	4,885,801
セグメント利益又は損失(△)	286,499	65,670	△13,367	31,756	370,558	20,739	391,297

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	370,558
「その他」の区分の利益	20,739
全社費用(注)	△94,818
四半期連結損益計算書の営業利益	296,479

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。